

平成24年度「特別支援教育総合推進事業（特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究）」報告書

団体名	秋田県教育委員会
研究開始年度	平成24年度

## I 概要

### 1 指定校の一覧

設置者	学校種	学校名（ふりがなを付すこと）
秋田県	特別支援学校 (知的障害)	あきたけんりつ くりたようごがっこう 秋田県立栗田養護学校

### 2 研究テーマ

一人一人の自立と社会参加を目指した一貫性のある指導の在り方  
～働く意欲を育てる授業づくりを通して～

### 3 研究の内容

#### 【研究の方法と内容】

平成23年度の研究を通し、児童生徒一人一人の「自立と社会参加の姿」を明文化することで、将来の目指す姿に向けて、今取り組むべき課題が明らかになり、働く意欲を育てるための授業実践につなげることができた。また、授業づくりの観点も明らかになってきた。

平成24年度はキャリア教育の視点により指導計画の立案、授業実践、評価を行った。

#### (1) キャリア教育の視点を生かした授業実践と授業づくりについての考察

① 「自立と社会参加の姿」を基にした個別の指導計画や、指導内容・年間指導計画の立案

② 働く意欲を育てる授業実践（評価活動に重点を置いて）

#### (2) キャリア教育の研修

○ キャリア教育の考え方や実践例、一貫性のある指導の在り方に関する研修会の実施

#### (3) 教育課程への反映

○ 授業や単元、題材ごとの評価を基にした、指導内容や年間指導計画等、教育課程の改善

#### 【評価の観点及び評価方法】

(1) 授業づくりの評価については、課題の設定、教材・教具、環境の整備、教師の働き掛け、学習活動の展開等を観点とし、その手立てが適切であったか評価する。

(2) 授業における児童生徒の変容については、指導案の評価欄や「本時の授業からの気

付き」欄に記入して評価する。

- (3) 研究の取組については、本校の職員からアンケート調査を実施し、平成23年度の結果と比較して評価する。

#### 4 研究成果の概要

##### (1) 成果

###### ①働く意欲を育てる授業づくりについて

児童生徒全員の「自立と社会参加の姿」を実態票に記載したり、「自立と社会参加の姿」を盛り込んだ資料を使って「中心単元・題材検討会」を年度当初に実施したりすることで、「将来のどのような力を付けるために、今指導すべきことは何か」について、複数の目で検討することができ、指導の根拠とすることができた。

また各学部において、働く意欲を育てる授業づくりのポイントとして、集団の中で役割を果たすこと、地域社会で学習すること、適切な評価活動を行うことを確認した。

###### ②教育課程への反映について

ア 「自立と社会参加の姿」を起点にした、個別の指導計画と年間指導計画の作成

イ 中心単元・題材事例集（小学部：遊びの指導・生活単元学習、中学部：生活単元学習）と、各作業班の実践例（高等部普通科：作業学習）、シラバス（高等部環境・福祉科：流通・サービス、家政）の作成

ウ 教育課程委員会や委嘱研究推進プロジェクトチームとの連携

###### ③児童生徒の行動の変容について

各学部、寄宿舎ともに、キャリア教育の視点による将来を見据えた指導を行い、児童生徒が自分から活動に取り掛かる、手順が分かって最後まで取り組む、出来栄の良しあしが分かって作る、困ったときに自分から教師に報告するなどの姿が増えたことが報告された。

###### ④教師の意識の変容について

平成23年度と24年度に実施した校内職員へのアンケート調査結果の比較から

ア 児童生徒の「一貫性のある」指導、授業づくりへの意識の高まり

イ キャリア教育の視点の必要感の高まり

ウ キャリア教育の理解を実感した教師の割合の増加

##### (2) 課題

①「自立と社会参加の姿」の妥当性、及び個別の指導計画、年間指導計画の妥当性の更なる向上

②「働く意欲を育てる」ための指導内容の更なる追求

③他教科・他領域との関連を明確にした指導